

こども新聞  
週刊がほピョンプレス



2011年3月11日に発生した東日本大震災。犠牲者の9割は、地震後に押し寄せた大津波によるものでした。

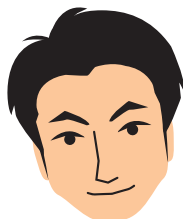
津波は、海面が風に吹かれて起こる普通の波ではありません。地震が発生した場所は、地面が盛り上がったたり沈み込んだりします。これが深い海の底で起きると、海底から海面まで、大量の海水が持ち上がり、ジェツ

きょうのテーマ

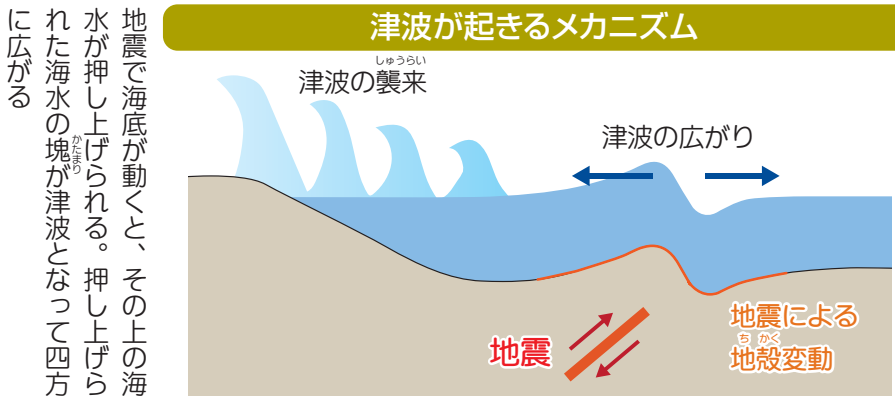
おりはらアドバイザーの

学ぼう防災

29



津波が起きるメカニズム



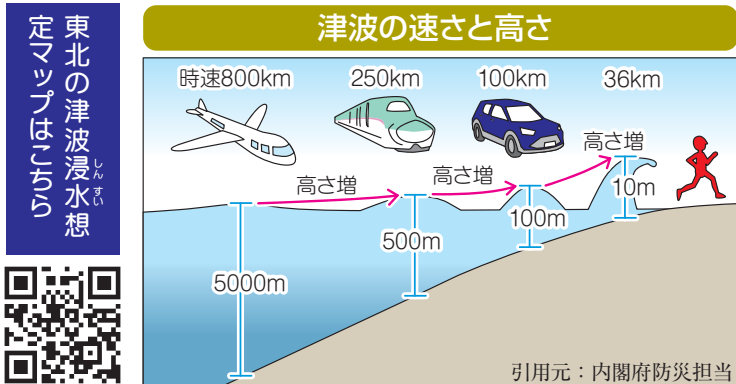
地震で海底が動くとき、その上の海水が押し上げられる。押し上げられた海水の塊が津波となって四方に広がる

波と津波の違い



波は、海面付近の海水だけが押し寄せる 津波は、海底から海面まで海水全体が押し寄せる (気象庁ホームページを基に作成)

津波の速さと高さ



津波の速さは地震の規模によらず、海の深さで決まります。浅い場所ほど遅くなるため、後ろの波が前の波に追いつき、高い津波になります。

津波から命を守るために

ト機並みのスピードで四方八方に広がります。陸に近づくと遅くなっ ていきますが、それでも オリソピックの短距離選手ほどの速さ。津波を見てから逃げようと思っ ても、間に合いません。

そして高さは同じでも、押し寄せる海水の量は普通の波とは桁違い。陸に届いた津波は、遠い沖合まで続く「海水の壁」です。すごい力でなだれ込み、高さ20センチでも立っていられず巻き込まれる危険があります。

油断は禁物 急いで逃げ

命を守るためにできることは「逃げる」ことだけ。 「津波でんでんこ」という言葉を聞いたことはありますか？ 「津波が来たら親も子も構わず、てんでバラバラに逃げなさい」という、東北の三陸地方に昔から伝わる教えです。東日本

大震災では、この教えの通り逃げて助かった人がいます。反対に、家族が心配で家に戻り、逃げ遅れた人もいました。

逃げるには、普段からハザードマップを見て危険な場所を知り、バラバラでもどこに逃げるのか家族で約束しておくことが大切です。津波が来な

いと言われている場所でも、油断は禁物。どんなに頑張っても、自然が起こす出来事の予測には、限界があります。津波が来るその時「もっと安全な場所はないか」を考えて、行動することが一番大事です。

11月5日は「世界津波の日」。震災を経験した日本が、世界に提案して制定された、世界中で津波の恐ろしさと対策を考える日です。皆さんも家族や友達と、一緒に考えてみてください。

(仙台市防災・減災アドバイザー・折腹久直)

みんな思い出

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ

今週の注目ニュース

◇27日(木) テディベアの日  
小熊を救った逸話のある米国の第26代大統領 セオドア・ルーズベルト(愛称・テディ)の誕生日にちなみ、制定されたよ。世界中で愛されるクマのぬいぐるみ。名前の由来にもなっているんだね。

ページの紙面

- 2面 ニコ☆プチ
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 聞いて学べる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 世界が熱狂! W杯サッカー